

天満屋倉敷店 2022年9月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
8/31(水)～9/5(月)	<p style="text-align: center;">—咲楽— <small>ビゼンヤキジョセイサツカテン</small> 備前焼女性作家展</p> <p>2008年に結成された備前焼女流陶芸家グループ「備前陶桜会」のメンバーによる作品展。花や料理を引き立てる素朴な備前焼を心掛け、日常使いから特別な日まで暮らしに彩りを添える使い方を女性ならではの発想を生かした作品でご提案致します。参加メンバー：上堂智子、竹崎洋子、辻多恵、土師ことよ、中平みすず、深澤恵、横山朋子(敬称略・50音順)。</p>
9/7(水)～9/12(月)	<p style="text-align: center;">開窯70周年を記念した天神窯3人展 岡本篤 川上節子 岡本和敏</p> <p>今年、記念すべき開窯70周年を迎える天神窯の三人展です。ご長男の岡本篤先生は故・岡本欣三先生が倉敷市羽島の地に開いた天神窯を受け継ぎ、先代の築き上げたものを継承しつつ独自の釉薬の研究に打ち込み日夜研鑽を続けておられます。また、円熟味を増してこられたご二女節子先生・篤先生のご長男で、新しい表現に挑戦し続ける和敏先生の、三人三様の多彩な美を、今展では最新作中心に一堂に展覧致します。玳瑁蓋天目、紫欣釉、桃壽光、辰砂、均窯、彩瓷、瑠璃、染付、瑞霞(ずいか)釉、蕙萌(けいほう)釉など多様な釉薬で表現された花器、皿、茶盤、香炉、酒器などをご出品いただく予定です。</p>
9/14(水)～9/19(月・祝)	<p style="text-align: center;"><small>トウ コウボウ ユウ ヒビ ウツテン</small> 陶工房 旂 日々の器展</p> <p>岡山県重要無形文化財保持者の金重有邦氏のもとで日々研鑽を積む金重周作先生、金重陽作先生、齊藤理先生の3人の作家による陶工房旂の作品展です。備前焼だけでなく釉薬ものもこなし、名匠金重素山が晩年を過ごした牛神下窯で日夜制作に励んでおられます。今展では日々のくらしの中で食卓を彩り、家で過ごす時間の小さな楽しみになるような食の器を幅広くご紹介いたします。約200点の出品です。</p>
9/21(水)～9/26(月)	<p style="text-align: center;"><small>タケザキ ノリヤス ヨウコ ビゼン ニニン テン</small> 竹崎典泰・洋子 備前二人展</p> <p>ご夫婦ともに備前焼作家としてご活躍中の竹崎典泰先生と洋子先生の作品展です。土づくりから全て手作業で行い焼成は登り窯を使用、力強く素朴な土味の伝統的な備前焼を追求するかたわら、「おしゃれに」「すてきに」「カワイイ」をコンセプトにしたブランド「take factory」をご夫婦で展開し、アクセサリーやテーブルウェアなどの小物も制作され、新しい備前焼ファンの獲得にも尽力されています。伝統的な備前焼から遊び心のある作品まで約150点を出品いたします。</p>
9/28(水)～10/3(月)	<p style="text-align: center;">ヨーロッパアンティークフェア</p> <p>アール・ヌーヴォー、アール・デコの時代のエミール・ガレ、ドーム兄弟、ルネ・ラリックのガラス工芸品やマイセン、KPMなどの陶磁器の逸品・優品から、アンティークジュエリーやヴィンテージアクセサリーなどの小物まで一堂に取り揃え展示販売いたします。あわせて蚤の市のような掘り出し物に出会える特別価格コーナーも特設いたします。</p>

作成：美術画廊担当 早川

営業時間 毎日午後6時閉場

※・9/6(火)・13(火)・20(火)・27(火)は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。